

2025 年度

J r D 小 論 文

注 意

1. 試験開始の指示があるまでこの問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答用紙はすべて**黒鉛筆または黒のシャープペンシル**で記入することになっています。鉛筆またはシャープペンシル・消しゴムを忘れた人は監督に申し出てください。
(万年筆・ボールペン・サインペンなどを使用してはいけません。)
3. この問題冊子は**4 頁**までとなっています。試験開始後、ただちに頁数を確認してください。
4. 解答用紙にはすでに受験番号が記入されていますので、あなたの受験票の番号であるかどうかを確認してください。
5. 解答は解答用紙の指定された解答欄に記入し、その他の部分には何も書いてはいけません。
6. 解答用紙を折り曲げたり、破ったり、傷つけたりしないように注意してください。
7. この問題冊子とメモ用紙は持ち帰ってください。

次の3つの設問から1つを選び、設問ごとに指定されたキーワードをすべて一度以上使って、あなたの考えを述べてください（解答用紙・表裏1枚以内）。志望学科にかかわらずなく、どの設問を選んでもかまいません。

選択した設問については、解答用紙の「設問」欄にその番号を記入してください。また、キーワードを使用した際には、該当箇所のすべてに下線 を付してください。

〔設 問〕

1. 「世界人助け指数 2024」という国・地域別ランキングにおいて、日本の順位は 142 カ国中 141 位であった。日本の順位が低い背景を考え、格差が広がる社会で人々が共に暮らすために必要なことを論ぜよ。

※世界人助け指数（World Giving Index*）は、1 カ月以内に「見知らぬ人を助けたか」「寄付をしたか」「ボランティアをしたか」という質問への回答を集計したもの。

* 出所：<https://www.cafonline.org/about-us/research/caf-world-giving-index>

キーワード：自己責任，意識，社会保障制度

2. 近年、日本で働く外国人労働者が増加している。こうした人びとが日本で生活していく上で直面する困難について考え、その解決のためにいかなる施策が必要か論ぜよ。

キーワード：人権，地域社会，人手不足

3. スマートフォンには、カメラや電話など様々な機能が備わっているが、OS（オペレーティングシステム）の上で動くという意味ではコンピュータである。そうすると、スマートフォンが登場する以前の時代と違って、子どもの頃から、人はコンピュータを使うことができるようになったと考えることができる。

子どもの頃からコンピュータとしてのスマートフォンを使うことによって身につくポジティブなスキル、能力としてどのようなものが考えられるか、また、このことが社会をよりよくしていくことにどうつながるのか、自分の考えを論ぜよ。

キーワード：創作，自主的な学び，イノベーション

【以下余白】

